

## クロソイ種苗の中間育成における飼育密度と給餌回数の検討

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2025-04-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 中川, 雅弘, 大河内, 裕之 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2014542">https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2014542</a>

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



クロソイ種苗の中間育成における飼育密度と給餌回数の  
検討

中川雅弘・大河内裕之

クロソイの中間育成経費の低減を目的として、飼育密度および給餌回数を違えた試験を実施した。種苗の収容密度は 200 尾/kL, 400 尾/kL, 800 尾/kL, 1 日の給餌回数 1 回または 2 回の 6 試験区を設定した。42 日後の生残率は 99.9~100%, 日間成長率は 3.3~3.5% となり、区間で差はなかった。しかし、飼料効率は 1 日に 1 回給餌する区が 2 回給餌する区に比べて高かった。また、全長 40 mm の種苗を 100 mm まで飼育する場合は、収容密度を 800 尾/kL にすることで 200 尾/kL より 1 尾あたり約 10 円、給餌回数を 1 日 1 回にすることで 1 尾あたり約 1 円を低減することが可能と計算された。

栽培技研, 30(2), 55-60, 2003